



議会だより

第142号

かわさき

令和3年5月1日発行
福岡県川崎町

[題字] まつおか ひさよ
松岡 久代さん (東田原行政区)

はばたけ かがやけ KODOMO第九



▲元気にうたう緑保育園児たち(P20)
3月14日 町民会館にて

3月 定例会議

令和3年度 当初予算可決

2

川崎町議会ホームページ

議員からのひとこと

6

川崎町議会 検索

QRコードからもご覧になれます▶

6人の議員が登壇 ～一般質問～

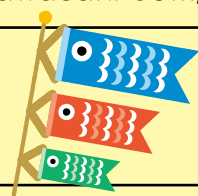
8

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
[お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



今号からオールカラーになりました!見やすくなっています。GO ➡

令和3年度当初予算可決

一般会計予算額は、114億1088万円

昨年度より7億9486万円の増

道の駅整備事業

本年度 3760万円

De・愛周辺整備事業

本年度 9386万円

観光交流公園整備事業

本年度 8000万円

かがやけ川崎 応援寄附金事業

本年度 4億9728万円

などを計上

歳出の主な内訳

総務費

コミュニティバス購入費1063万円、
衆議院議員選挙事業1466万円、
結婚新生活支援事業費480万円、
かがやけ川崎応援寄附金事業など。

民生費

障がい者支援事業、保育所運営事業、
放課後児童健全育成事業(2340人対象)
地域子育て支援センター費、老人福祉費など。

衛生費

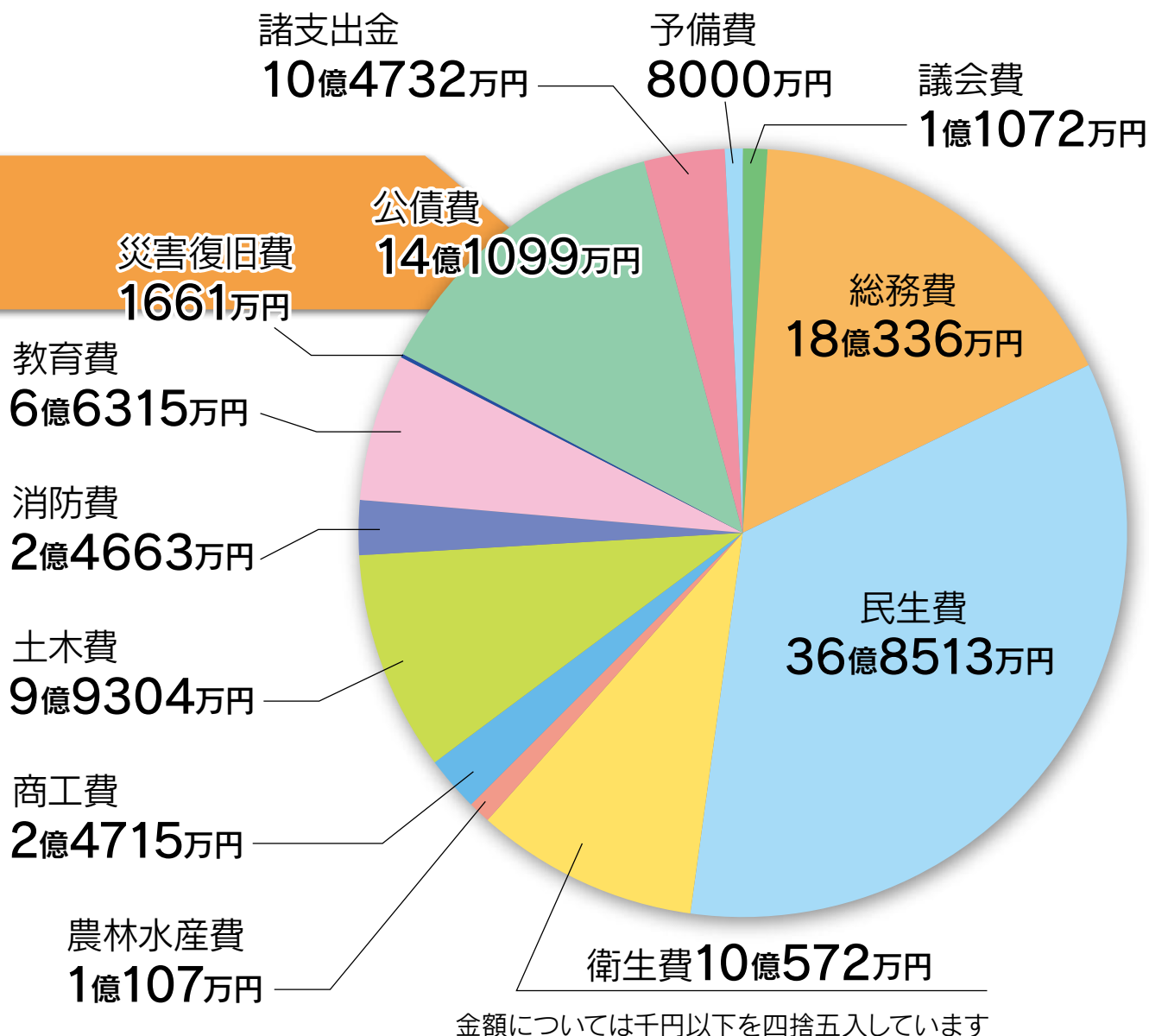
総合健診、がん検診、予防接種などの予防事業、乳幼児健診などの母子保健事業費、塵芥処理事業など。

土木費

住宅管理事業、大峰・豊州改良住宅改善事業、河川維持管理事業、道路維持費など。

教育費

小学校・中学校管理費、図書館管理運営事業、給食センター繰出金など。



令和3年度予算 特別会計

学校給食センター

1億6772万円

住宅新築資金等貸付事業

1559万円

国民健康保険事業勘定

19億5548万円

後期高齢者医療

2億4060万円

令和2年度 補正予算

●一般会計補正予算(第7・8・9号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
137億3180万円	△2億8713万円	134億4467万円

<主な事業>

◆ ふるさと納税包括支援業務委託料	1億2500万円
◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費	1億1499万円
◆ 川崎小学校屋内運動場屋根等改修事業	3743万円
◆ 障がい者福祉事業	2100万円
◆ 人件費に要する経費	△3450万円
◆ 民間保育園運営事業	△2540万円
◆ 健康推進事業	△1168万円
◆ 特別定額給付金事業	△1902万円
◆ 観光施設推進事業	△1億9137万円
◆ 道路新設改良事業	△1億2860万円
◆ 文化財保護事業	△1730万円

●学校給食センター特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
1億7995万円	△1350万円	1億6645万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

お詫びと訂正

前号(第141号)のP4に以下のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

誤 当期純利益△6483万円

正 当期純利益△648万3千円

財産の取得

令和2年度川崎町立川崎中学校電子黒板等の備品購入の売買契約を5社による指名競争入札により1320万円で株式会社徳野と締結しました。

購入内容

モニター型電子黒板……………16台
校務用サーバー……………1台
授業用ノートパソコン……………20台

購入目的

統合開校した川崎中学校のICT教具備品を整備する為。

政治倫理条例の一部改正

議員のなり手不足解消・活動範囲の明確化へ

- ◆行政区長・区長代理
- ◆社会福祉協議会正副会長
- ◆商工会議所正副会頭
- ◆消防団正副団長
- ◆農業委員会正副会長
- ◆上記以外で町が30万円以上助成している団体の長及び代理職

議員はこの職には
就けません

条例の改正

運営委託先の変更に伴い、川崎町学童クラブ施設の設置及び管理に関する条例の一部を削除しました。

川崎町犯罪被害者等支援条例の制定

田川市郡で統一した犯罪被害者等の支援を総合的に実施、犯罪被害者等が受けた被害を回復・軽減し、再び平穏な生活を営むことが出来るよう支援を目的とする。

請願

全企業へ「永久劣後ローン」融資制度の創設を国に求める意見書の提出に関する請願



コロナ禍により廃業や倒産の危機に面している多くの企業を支えて存続させ、雇用を維持していくためにも、返済期限を定めない「永久劣後ローン」の創設を国に求める意見書を提出してください。というもの。

可決 3月15日、国に意見書を提出しました。

2021 議員からの

ひ

と

こ

と



中山 信和 議員

たくさん笑って
いこうじゃないか
どんな波でも のりこえられる
しわの数だけ 倅せあるさ
笑う門には 福が来る。



櫻井 英夫 議員

至誠一貫公生涯
命がけで公僕を
貫きます

北代 俊雄 議員

東日本大震災から10年、
人ごととは思えません。
笑顔が元気の源…
川崎町もコロナ禍による
『3密』をさけて
頑張ろう



本町ワイワイガヤガヤ
朝市仕入担当
今日は肉も魚も
good

樋口 秀隆 議員



手嶋 康徳 議員

農業・観光・文化で
まちづくり、
がんばります！
農業は楽しい～



松岡 久代 議員

今日の佳き日を
一つのステップとし
子ども達と触れ合う喜びで
歳を重ねる自分がある



千葉 加代子 議員

やさしさと思いやり
にあふれた町づくり
～違いを認めあえる
社会を～





原 節雄 議員

君たちが居るから私は
川崎町の活力ある
町づくりに頑張れる

最前線で頑張っている
皆さんへ。
「感謝の拍手」を送らせて
ください。

松田 孝行 議員



大谷 春清 議員

新型コロナの大変な時期では
ありますが、感染予防につとめ
今後も町民の皆さまの声を
町政へ反映させていきます。



寺田 響 議員

子ども達が
ほこれる川崎町に



川根 節生 議員

これまでは無我夢中で
走ってきました。
これからは地に足を
しっかりつけて頑張ります。



繁永 英樹 議員

町民全体に手が届くような
議員活動をします



手嶋 真由美 議員

今日も元気に頑張ろう♪
笑顔いっぱい、
優しさいっぱいの町づくり

見月 康一 議員

コロナに負けず、
こんなときだからこそ
ピンチをチャンスに、
頑張りましょう
終息を願い、笑顔で
前向きに尽力いたします



一般質問

よりよいまちづくりを
めざして

町政を
問う!!

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。



寺田 響 議員

問 まずは町内のゴミを無くすべき

答 美化活動を推進していく

議員 町内一斉清掃の効果もあり、各行政区担当地域ではゴミは少ないと感じるが他市町村に繋がる道にはゴミが散乱している。今後観光や教育を再生していく川崎町にとって最初に取り組むべき重要な問題であると考え、改善に向けた取り組みについて町長に問う。

町長 県道沿いにごみが散乱している状況が見受けられるのは確かです。

近年いろんなボランティアの方が、町が行うイベントの前に自主的に清掃活動しようと申し出がある状況は続いており、美化に対しての認識がかなり上がってきていると感じています。

今後「町民全体が一緒になって川崎町を美化する」という活動を考えていきます。



問 コミュニティ・スクール協議会の実績は

答 各学校の成果に差が出ている

議員 平成28年に発足された川崎町コミュニティ・スクール

協議会における成果と課題は。

教育長 年度ごとの学校運営を協議・検討して年度目標を設定し、その目標を具体的に実践していくボランティアの活動支援を募り、目標達成に向けた活動を実施していく学校もできてきました。

コミュニティ・スクール協議会で年度目標が決まっても、実際に活動を行うボランティアによる支援体制に苦慮している学校もあります。

今現在では学校により取り組み内容や成果に差が出ていることが一番の課題です。

問 家庭教育への取り組みは

答 講習会等を実施

議員 当たり前ですが、教育において一番の責任者は保護者である。

家庭教育とはつまり、保護者の意識であり、教育に対する保護者の意識改革を行わなければ、川崎の教育に未来はないと考える。今後の教育改革について教育長の考えを伺う。

教育長 人格の形成にとって大事な就学前の家庭教育。さらに言えば母親の胎内にいるときからの胎児との関わり方などが特に重要なことだと考えます。今後は保護者のライフステージに合った講習会等を実施していければと考えています。



問 De・愛にある移動販売車の稼働状況は

答 民間に貸し出し含め検討

議員 De・愛にある移動販売車（軽自動車・1トン車）は地場産業促進や買い物弱者救済の趣旨のもと整備されたが、最近の稼働状況についての成果と課題を問う。

町長 採算が取れず赤字経営が続いたという理由により、29年以降は中止している状況です。民間に貸し出しも含めて検討していきます。



問 担い手農家の育成確保をすすめ、新規就農者が参入しやすい環境づくりを

答 積極的に支援を行う



てしま やすのり
手嶋 康徳 議員

議員 第6次総合計画「ReBorn」には農業振興の重点施策として担い手農家の育成確保を進め、新規就農者が参入しやすい環境をつくり、受け入れ体制を整えると、積極的参入を支援する、とあります。が施策の具体的な取り組みは。

町長 農業を取り巻く環境は他の産業に比べても担い手の高齢化、後継者不足などが急速に進んでおり、耕作放棄地が増加して貴重な農地を次の世代に受け継いでいくことが困難な状況です。その解決策として就農希望者並びに新規就農者からの相談を受け、関係機関と情報を共有しながら新規農営者の経営所得の、安定化に向けた支援として、年間最高で150万円の資金を最長で5年間交付する、農業次世代人材投資事業を展開しており、今後も積極的に支援を行っていきます。

議員 新規就農するためには人、農地、技術、施設や農業機械などを購入するための資金が必要となります。本町が所有する農地に消費者に人気が高く、高収益が見込まれるイチゴやミニトマトなどの栽培施設を国、県の補助金を活用して建設し、この施設で公募した新

規就農者に対して研修を行い、その後に独立経営を支援していくという取り組みをしていただきたい。

問 池尻駅を総合的に整備する？

答 道の駅と併せて取り組む

議員 第6次総合計画「ReBorn」には農業と観光のまちを目指し、川崎町農産物直売所De・愛と、隣接する安宅川周辺を観光の拠点として整備し、道の駅については町全体の経済産業の活性化の拠点として整備を行う。そして観光地の魅力を高めるために池尻駅周辺を総合的に計画的に整備するとありますが、施策の具体的な取り組みは。

町長 De・愛周辺の再整備を含めて、道の駅を整備することで町全体に大きな核が2つでき、その核を点在する観光施設に結びつけ、他の地域にはない観光づくりができると考えます。川崎町には豊前川崎駅と池尻駅2つの駅があり、池尻駅は道の駅に近い駅であり、駅前の周辺整備は必要と考えています。

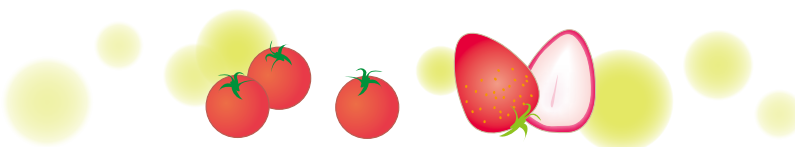
問 地方公共交通の広域連携を！

答 町から田川市や必要な箇所に延ばしていく

議員 川崎町の「ふれあいバス」と同じように田川市郡ではそれぞれ独自に地域公共交通の取り組みが行われています。町民の利便性や費用対効果を考え田川市郡全体での運行の連携と路線の充実、整備に取り組む時期が来ている。前回の質問では、調査、勉強して対応していきたいとの答弁でしたが、その後の経過はいかに。

町長 かねてより町民の皆様の要望があることは理解していますが、川崎町から後藤寺駅や田川病院など、必要な箇所にバスを運行することは現在検討中です。

議員 令和という新しい時代の魅力のある新しいまちづくりには、田川地区の広域連携による地域公共交通への取り組みが、一丁目1番地であります。現在田川地区では一部事務組合による広域での公共サービスが展開されていますが、同様に町民福祉の向上のため広域連携による地域公共交通の整備、充実にも取り組んでいただくことを切に願います。





かわ ね せつ お
川根 節生 議員

問 農業振興を図っていくための環境整備を

答 農業は基幹産業力を入れていきたい

議員 本町の基幹産業である農業を守り、農業振興を図っていくための環境整備は大変重要です。高齢化が進み後継者不足も深刻で、担い手農家に農地を貸し出すにしても農地整備、農道や水路などの周辺施設への整備を含めどのように推進していくのか。

町長 農業は町の基幹産業であり力を入れていきたい。農家と町が農業をどのように進めていくのかを考え、高齢化が進むなかで担い手不足を解消するためにも収益を上げなければ継続できない。

それには農業法人化や集団的な農業経営が必要であり今後、農家と手を携えて農業経営のあり方を考えていきたい。

議員 農地を営農組合、農業法人、担い手農家へ集約するためにはどのような支援が必要だと考えていますか。

町長 農業の基本的な問題は高齢化による人材不足を解消することです。集約化した農地農業形態が必要だと考えます。集落座談会等で問題点を今後の集約化の推進に役立てていきたい。

農家に対しての支援は様々な形で必要に応じて申し出て頂きたい。町として色々な事案が生じてみても必ず町民のため、農家のために積極的

に国、県に相談し事業支援をしていきたい。

議員 有害鳥獣による被害は年々増加をしています。前回でも質問しましたが農作物への被害を防止するにはどのように取り組んでいけるのか。

町長 令和3年度は、有害鳥獣の捕獲単価を増額し駆除に対しての資金を上げたいと考えています。「罠」や「柵」の配布も例年行っていますが住民の要望に応えられるような量を増やしていきたいと思っています。なお、今年度はICTを利用した「罠」の動作管理システムを6機導入します。

問 町営住宅の適正戸数は

答 将来的な建設戸数は1700戸程度

議員 町民が安心して暮らすことができる住環境の整備は大変重要であるとの見解を示されていますが、人口減少を見据えた最終的な適正戸数はどれくらいだと考えていますか。

町長 現在、町営住宅の長寿命化計画を策定し、2030年における町営住宅の世帯数を1680世帯と推計し、将来的な適正戸数は1700戸程度と考えています。

議員 現行での町営住宅の申し込みから入居までの手順とそれに要する期間がどれくらいかかるのか。

町長 申し込みから鍵を渡すまでの期間は平均2カ月から2カ月半程度かかります。公営住宅に入られる方は長く住まわれる方が多く、退去される場合大がかりな改修になり全体的な工事になります。

少しでも早く入居できるように対応してまいりたい。

議員 改修に要する期間が長いと感じます。入居を希望される方は期間に余裕がない方が多くおられます。空きが出た時点で次の入居が決まっていなくても、傷んだ箇所の補修をしていけばその空き部屋にすぐに入居できるのではないのでしょうか。

1日でも早く入居ができるように改善をして頂きたい。

町長 前もって空いているところを整理していればいいという考えもありますが、入居率は下がっていて空き部屋が多くあります。随時募集でいつでも入居出来るように改正しております。空き部屋が出て改修しても条件が合わないという事もあり、出来るだけ早く入居できるような改善を考えて参りたい。

問 ヘルプマーク啓発の取り組みは

答 広報紙・ホームページを使って
広報する



てしま まゆみ
手嶋 真由美 議員

議員 昨年5月から、福岡県では希望する方にヘルプマークが配布されるようになったが本町では何人、申請をされましたか。

町長 令和3年2月末現在、8名の方が申請をされています。

議員 ヘルプカードについては保持している人数を把握していますか。

町長 ヘルプカード自体は役場の窓口、保健センター、総合福祉センター、町立病院、コミュニティセンター等で配布し、どなたでも自由に手にする事が出来るため保持者数はつかめませんが、県から支給された数は400枚で130枚ほど使われている状況です。

議員 ヘルプカード・ヘルプマークの活用については、本町でもまだよく知られていないのが現状ですが、今後の利活用を含む啓発の取り組みはどのようにしますか。

町長 今後も広報紙やホームページ等を使って広報し、理解を求めていきたい。

問 便利なコンビニ納付の導入を

答 キャッシュレス化に向け、
取り組みを推進

議員 コロナ禍の中で、生活様式も変化しデジタル化が進んでいます。スーパーやコンビニではPayPayなどの支払いでキャッシュレス決済が増えました。本町でも住民にとって便利なコンビニ納付など取り入れてはどうか。

町長 町においても住民票や戸籍、印鑑証明等の手数料、税金納付等のキャッシュレス化導入をしたかどうかという議題で検討は進めているところで、費用対効果を考えればマイナスが多いが住民の利便性は高いものがある。今から将来に向けたキャッシュレス化に向けた取り組みを推進していきたい。



問 子ども医療費助成を 高校生まで拡充できないか

答 町にふさわしい
支援のあり方を考える

議員 本年4月から北九州市では、子ども医療費を高校生まで拡充します。これには県の助成対象が中学生まで拡大される予定の背景がありました。本町では現在、中学生まで医療費が無料ですが高校生までの拡充をする考えはないか。

町長 高校生まで拡充する事については、現在本町では子育て世代の支援として給食費も含めて保育料の無償化等も行っています。子育て世代の支援と充実その他、福祉の充実を行っていますので、全体的な枠で町にふさわしい支援のあり方を考えていきたいと思っています。



▼ヘルプカード



◀ヘルプマーク



はら せつ お
原 節雄 議員

問 箱物農業の推進を

答 大きな事業 慎重かつ積極的に考える

議員 前回、儲かる農業について、どのように行うかの質問をしました。

よく検討をするが、急ぎ過ぎたら非常にお金がかかるという問題が出てきました。

今、それぞれの小組合で行っている協議の内容を説明していただきたい。

農林振興課長 今進めているのは、人・農地プランです。

集落座談会で5年後、10年後に自分の農地をどうしていくかということを話し合っ、それを地図に書いて現地に入り、農地を守っていく

ためにはどうしていくかということ話を合っておりま。

議員 稲作については、もう既に形はできております。田んぼについては圃場整備をしながらでも改革し推進したいという話がありましたが、畑はどうするのか。畑は草が生えて、竹藪になって、イノシシの巣になります。

問題は稲作が終わって麦を植えた後に何の作業をするのか。

今後は年間通じて働く場の推進、地区の小組合の統合、箱物の推進が必要と思いますが。

町長 農業普及所と農協等の知恵を借りながら、現在農政については執り行っています。

箱物は高収益を見込める農業であり、地域ごとにまとまってやるのも大変良いと理解しています。

現在はまだ全体的な将来像がそこまでいってません。今後、農地の集約化等も踏まえて高収益農業を取り入れ将来の農業に向けていきたい。

箱物はすごくお金がかかるが、県の補助金等の事業もあります。大きな事業になるので、慎重にそして積極的に考えてまいりたい。



問 NET119の導入を

答 地区消防に要望を強めていく



ちば かよこ
千葉 加代子 議員

議員 NET119緊急通報システムは、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障がい者が円滑に消防への通報が行えるようにするシステムです。国は平成30年障害者基本計画で令和2年度までにすべての消防本部でこのシステム導入を目標とし、地方交付税措置も行っていますが、福岡県内で導入されていないのは、飯塚と田川地区消防本部だけです。火災が発生した場合、通報が困難な方たちのために早急に導入の働きかけをしていただきたい。

町長 現在、消防本部には、導入の予定はないということですが、今後さらに要望を強めていきたい。

問 洋式トイレの温座化を

答 対応をしている

議員 きれいな水とトイレはSDGsで決められた国際社会共通の目標です。寒い冬に冷たい便座に座るのは、ヒートショックにもつながります。障がい者用トイレと洋式トイレの温座化を取り組んでいただきたい。

町長 1月中旬から改装を始め、1階の洋式トイレ、多目的トイレは、温座にかわっています。

議員 関連施設の障がい者用トイレは。

防災管財課長 保健センターと隣保館はすべての洋式トイレは温座化、安宅ふれあいセンターは多目的トイレのみが温座化。その他の洋式トイレは通常通りです。

議員 庁舎内のトイレの手洗いは非接触型ですが、小中学校はどうなっていますか。

教育長 新中学校のトイレは、非接触型ですが、小学校はどこも非接触型になっていません。感染予防等を考えると非常に重要と考えておりますので、今後、学校の改修時、トイレの洋式化等を検討するなかで手洗い部分につきましても検討していきたい。



問 学習習慣の定着を図る対策は

答 良い実践報告を検討し実施

議員 基礎学力の向上のため、学習習慣の定着が必要です

が、どのような対策を考えていますか。

教育長 放課後を活用した「学びっこ教室」「チャレンジ教室」など学校である程度、宿題や読書が終えられる対策を今後も継続したい。宿題の出し方や1日数分でも保護者に関わっていただく事で宿題忘れがなくなったという実践報告も上がっているので、学校で検討し実施してもらいたい。

議員 学習内容が高度になり、タブレットを利用した授業も増えてきます。教師の負担が大きくなるのが懸念されますが、自信をもって授業するための研修等は計画していますか。

教育長 各学校の先生方が一番不安に思っていることはICTの導入です。しかし、一旦、機器の操作方法や使用方法を習得すれば、最終的な先生方の負担は軽減されると考えております。1学期はICT支援員に入っていて先生方の負担軽減を図っていきます。また研修につきましても、1学期から夏休みまでの期間を使って重点的に行っていき、先生方の不安からくる負担を減らしていきたいと考えています。

他に男女共同参画について質問しました。

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



総務常任委員会

ふれあいバスの調査を行いました

広報広聴常任委員会で、ふれあいバスの利用者の方々に聞き取り調査を行った結果をもとに調査をしました。

Q1. 時刻表が小さい。

A1. バス停のところにある表示を大きくして、かつ文字も大きくして作り直そうと考えている。

Q2. 内木城まで延伸できないか。

A2. 委員会などに諮って、可能であれば延伸したいと考えている。

Q3. 町外まで行って欲しい。

A3. 西鉄バスや民間のタクシー会社との兼ね合いもあり、また補助金の基本的な部分が壊れてしまうのという問題があるが、住民からの要望があるのであれば、前向きに関係市町村と協議したり、ほかの補助金を探すなどということも含め、検討していきたい。

Q4. 大島団地にも行って欲しい。

A4. 今は設立当初に一番よいと考えた5コースとなっている。大島団地に行くとすると、このコース自体を抜本的に変えないといけなくなり、今のままでは運行できなくなってしまう。



職員の適数配置は、継続して調査

委員会で職員1人当たりの作業金額を算出したところ、類似団体の8自治体職員の平均を大きく上回りました。他の自治体が行っている作業を、川崎町ではそれ以上の人員が必要になっている理由について執行部に尋ねました。

執行部からは、他の市町村ではあまりない公立の老人福祉施設である愛光園や幼稚園、保育園などを抱えており、そこで勤務する職員がいること。他の市町村に比べて町営住宅も多く、また老朽化している住宅もあるため、携わる職員が自然と多くなること。そして住宅新築資金や税金の滞納整理、住民福祉などに携わる職員が他の市町村よりも多いこと、などが考えられるとの回答でした。

委員会からは、なぜ川崎町の職員が多いように思われるのか、また他の市町村に比べてなぜ多いように見えるのかを広報やホームページ等を通じて、町民が納得が出来る、わかりやすく整理したものを町民に知らせよう提言しました。委員会としても継続して調査していき、執行部と共に職員の適数配置について取り組んでいきたいと考えています。





民生文教常任委員会

明るくなりました

町立図書館の照明のLEDへの取替について、現地視察に行きました。工事中でしたが、以前に比べ大変明るくなっています。利用者、特に高齢者からは喜ばれるのではと感じています。(既に工事は完了しています。)



▲パピルスホール

完成しました

増築が完成した川崎小学校学童クラブを視察しました。

大変、立派なものが出来上がっております。

十分な広さもあり、要望していました児童の安全も指導員が常に確認できるようになっていました。

増築した川崎小学校学童について、定員を増やすようですので、委員会から申請児童全て受け入れられるような体制づくりをお願いしました。



▲川崎小学校学童クラブ

学童クラブの申請受付等が改善

以前から尋ねていました学童クラブの入所の受付等について回答がありました。

入所受付を令和3年1月に行い、申請書の配布も12月初旬に変更し、これにより1か月以上の期間がとれ、添付書類の準備の時間もとれるようになるということです。

入所の審査方法を令和3年度からは担当課で選定をしていくよう改善をしたそうです。

新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルス対策の取り組みですが、防災無線による周知、窓口に飛沫感染防止のパネル設置帰庁時に職員による消毒を行い、令和2年2月28日に新型コロナウイルス対策本部を設置し、令和3年1月までに15回の会議を設け、情報の共有、対応等の協議があったとのことでした。

委員から、来庁者がマスクを着用していない時はどうするのかとの質問がありましたが、今のところマスク未着用の来客はおらず、今後そのような場合は、マスク着用をお願いし、万が一拒否をすれば入庁を断るなどの措置を講じるなど関係課と協議し、感染予防に努めたいとのことでした。

なお、感染防止対策として、庁舎正面入口とコミュニティセンター入口に自動検温器が設置されました。



新型コロナウイルスのワクチン接種は国が示している優先順位に応じ接種を開始する予定で準備を進めています。

集団接種を予定しているとのことですので、ワクチン接種には万全の体制を期していただくよう要望しました。

いつまでかかる?通学路

以前から調査をしています川崎中学校への太田側から通学路ですが、補助金を受けるための準備をしているそうですが、令和3年5月に要望し、令和4年に測量・設計等になる予定で、まだまだ時間がかかりそうです。

委員会から生徒の安全確保については再三お願いしていますので、最短での工事に向け全力で取り組むよう要望しています。



▲太田付近の通学路



建設産業常任委員会

町営住宅を調査

Q1. 町営住宅の現状は？

A1. 入居可能な空家は55戸程度です。耐用年数が過ぎている住宅は新規の入居を停止しています。1棟全てが空家になれば除却していく予定です。

Q2. 火災などに遭って住めなくなった場合の対応は？

A2. 緊急入居できる住宅を2戸程度用意してあります。補修等の期間を待ってもらえばその他の空いている住宅に入居もできます。

Q3. 被災者が高齢の場合、緊急入居の住宅は1階にしてあげられないか？

A3. 緊急入居用の住宅は、公募にも随時募集にもかからなかったところを取っている。1階は希望する方でうまってしまうので、難しいです。

農業への取り組み

Q1. 新規就農者はいるの？

A1. 現在は5名の新規就農者の方々が川崎町で農業に励んでいます。町からの支援として、町有地の貸し出し、農機具の貸し出し、露地栽培に必要な資材の一部助成を行って新規就農者の確保に努めています。



特産品を調査

Q1. 特産品のアップルクーヘンの売り場が分かりにくい！

A1. De・愛に新しいショーケース型冷蔵庫を買って、そこに陳列している。ポップも設置し目につくようにしています。

Q2. その他、売り出す取り組みは？

A2. ふるさと納税の返礼品にできるよう、企画情報課や配送業者と協議している。1月にはテレビやラジオでも取り上げてもらいました。今後De・愛で行われるイベントにも積極的に参加して売り出していきます。1月からは焼き立てもレジの前で売っています。

直売所内の新しい冷蔵庫



De・愛の加工所
ここで研究・作成して
となりの直売所で販売中！

令和2年度 議員会議出席表

	本会議	常任委員会					議運	視察・研修・来町等	全員協議会	議長公務	出席数	欠席数	届出欠	公務欠	病欠	その他	会議数
		総務	民生	建産	予算決算	広報広聴											
中山 信和	24	16			6	17	19	2	7		91	1	1				92
北代 俊雄	24	16			4				7		51	2			2		53
小田 卓	17			15	4	13	14		6		69	2	1		1		71
手嶋真由美	24		14		6	13		2	7		66						66
川根 節生	24	16			6	13		3	6		68	1	1				69
手嶋 康德	23			23	6	13	20	3	7		95	1	1				96
松田 孝行	24			23	6				7		60						60
繁永 英樹	23		14		6				5		48	3	3				51
見月 康一	24		15		6			1	7		53						53
寺田 響	24		14		6	13	19	2	7		85	1	1				86
千葉加代子	24			23	6				7		60						60
原 節雄	23		14		6		20		6		69	3	1			2	72
樋口 秀隆	18	14			5		17	1	6		61	13	3		3	7	74
松岡 久代	23			23	6	3	4	1	6		66	2	2				68
大谷 春清	24	16			6		19	1	7		73	1		1			74
櫻井 英夫	22		1		6		17	1	6	57	110	3			3		113
出席	365	78	72	107	91	85	149	17	104		1125	33	14	1	9		1158
欠席	12	2	1	2	3		6		7								



▲庁舎3階本会議場

令和2年度 第10回川崎町議会(1月会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果													
			中 山	北 代	手 嶋 寛	川 根	手 嶋 康	松 田	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	原	樋 口	松 岡	大 谷
予補 算正	一般会計	P4を参照	(可決) 簡易表決													
選挙	斎場組合議員選挙	田川地区斎場組合議員を選出するもの	(当選) 寺田 響 議員													

令和2年度 第11回川崎町議会(2月会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果													
			中 山	北 代	手 嶋 寛	川 根	手 嶋 康	松 田	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	原	樋 口	松 岡	大 谷
財産	財産の取得	P5 を参照	(可決) 簡易表決													
予補 算正	一般会計	P4 を参照	(可決) 簡易表決													

令和2年度 第12回川崎町議会(3月定例会議)

議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果													
			中 山	北 代	手 嶋 寛	川 根	手 嶋 康	松 田	繁 永	見 月	寺 田	千 葉	原	樋 口	松 岡	大 谷
報 告	専決処分（一般職の職員の給与に関する条例の一部改正）	条例内の文言の変更	報告のため採決はありませんでした													
	専決処分（勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正）	条例内の文言の変更	報告のため採決はありませんでした													
発 委	政治倫理条例の一部改正	P5 を参照	（可決）簡易表決													
諮 問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	任期満了に伴い、縣 秀晴 を再任するもの	（適任）簡易表決													
選 任	川崎町固定資産評価審査委員会委員の選任	任期満了に伴い、谷 文和 を再任するもの	（同意）簡易表決													
規 約	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び福岡県市町村職員手当組合格約の変更	田川地区広域環境衛生施設組合が新規設置することに伴い規約の中に追加するもの	（可決）簡易表決													
	田川郡町村公平委員会共同設置規約の一部改正	田川地区広域環境衛生施設組合が新規設置することに伴い規約の中に追加するもの	（可決）簡易表決													
条 例 の 制 定	犯罪被害者等支援条例	P5 を参照	（可決）簡易表決													
	町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	善意かつ重大な過失のない場合損害賠償責任の一部を免れる	（可決）簡易表決													
	町立病院の役員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	善意かつ重大な過失のない場合損害賠償責任の一部を免れる	（可決）簡易表決													
条 例 の 一 部 改 正	附属機関の設置に関する条例	川崎町農業振興促進協議会を新たに付属機関として設置するもの	（可決）簡易表決													
	学童クラブ施設の設置及び管理に関する条例	P5 を参照	（可決）簡易表決													
	重度障害者医療費の支給に関する条例	条例内の文言の変更	（可決）簡易表決													
	町立病院評価委員会条例	条例内の文言の一部追加	（可決）簡易表決													
	大型作業場等の設置及び管理に関する条例	条例内の文言の一部削除	（可決）簡易表決													

計画	第9次川崎町高齢者保健福祉計画	町行政の各分野それぞれの方向を決める計画	(可決) 簡易表決
	川崎町地域福祉計画	町行政の各分野それぞれの方向を決める計画	(可決) 簡易表決
	川崎町第4次障がい者福祉基本計画及び第6期障がい福祉計画並びに第2期障がい児福祉計画	町行政の各分野それぞれの方向を決める計画	(可決) 簡易表決
	第3次川崎町男女共同参画プラン	町行政の各分野それぞれの方向を決める計画	(可決) 簡易表決
補正予算	一般会計	P4を参照	(可決) 簡易表決
	特別会計	P4を参照	(可決) 簡易表決
当初予算	一般会計	P2を参照	(可決) 簡易表決
	特別会計	P3を参照	(可決) 簡易表決

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

議会日誌

1月		2月		3月	
5日	議会運営委員会	第11回川崎町議会(2月会議)		第12回川崎町議会(3月定例会議)	
7日	第10回川崎町議会(1月会議)	10日	全員協議会	2日	本会議
常任委員会		8日・24日	議会運営委員会	3日	委員会(総務・民生・建産)
20日	総務常任委員会 建設産業常任委員会	常任委員会		4日	議会運営委員会
22日	民生文教常任委員会	19日	民生文教常任委員会	5日	本会議・広報広聴常任委員会
13日・18日	広報広聴常任委員会	26日	建設産業常任委員会	9日	予算決算常任委員会(補正) 建設産業常任委員会
		16日・25日	総務常任委員会	10日	予算決算常任委員会(当初予算)
				12日	本会議(一般質問)
				15日	本会議(最終日)
				30日	議会運営委員会
				常任委員会	
				29日	建設産業常任委員会

議会の傍聴においでください

次回定例会 予定



- ◎6月 1日…本会議(初日)
- ◎6月 4日…本会議(中日)
- ◎6月 9日…本会議(一般質問)
- ◎6月10日…本会議(最終日)

